

菌根若手研究者公開セミナー（Roger Koide 教授をお迎えして）の報告

去る2018年7月9日に、菌根研究会の後援を頂き、菌根若手研究者公開セミナーを東京大学弥生キャンパス中島董一郎記念ホールにて開催いたしました。これは、2018年度日本学術振興会の外国人招へい研究者（短期）として Roger Koide 教授（米国プリンガムヤング大学）が、帯広畜産大学にいられている機会を利用して、日本の菌根研究者、特に若手の方達への英語での発表の機会と、Koide 先生との親交を持ってもらうための機会として企画したものです。

当日は、各地から約40名の参加者があり、菌根に関する若手研究者による10件の講演が行われ、先端の研究内容の発表と、それに関する活発な議論が行われました。また、本会の最後に特別講演として、Koide 先生から「Life's lessons from my career in teaching and research」とのタイトルで、若い研究者に向けた研究者生活を歩む上でのアドバイスに関するお話を頂きました。お話の中で Koide 先生が示された要点は、「Ask for help」、「Be open to new ideas」、「Be flexible」、「Never stop learning」、「Let your research be driven by questions, not methods」、「Do the right thing」、「Publish in English」の7つで、それらを、これまで Koide 先生がなされた多くの研究と、学生や共同研究者との関係を実例にした興味深いお話頂き、質疑とその応答も活発に行われました。セミナーのあとは、同キャンパス内のレストランにて、発表者と Koide 先生を中心に懇親会を行い、盛会の中それぞれ親交を深める機会を持つことが出来ました。これらはすべて、ご参加頂いた菌根研究者の皆様、将来に資するものであったと考えております。

本セミナーの開催に当たりまして、東京大学大学院農学生命科学研究科の福田健二教授、松下範久准教授には、会場の手配などのご支援を頂き、また、事前準備や当日の司会等、齋藤会長をはじめ多くの会員の皆様にご協力を頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

橋本 靖（帯広畜産大）



セミナー中の Koide 先生



セミナーの風景



懇親会の風景



齋藤会長と Koide 先生